

### 3 多様なサービスの充実と展開

施設の利用者はもとより、地域の幅広い住民を利用者と捉え、利用者を元気にする活動を展開する。

#### (1) 「ラウンド・ケア・サービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」の充実展開

##### ア 「ラウンド・ケア・サービス」の充実

###### 【ことぶき苑】

- ・契約利用者数15名を目標
- ・近隣病院（豊岡病院、日高医療センター、八鹿病院、朝来医療センター）との連携強化
- ・豊岡市内の居宅介護事業所へのPRを実施
- ・近隣の個人医院、薬局へパンフレットを配布し利用を促進
- ・日高町内での対象エリア拡大
- ・訪問介護事業所（令和3年度予定）との連携を検討

###### 【朝陽ヶ丘荘】

- ・契約利用者数15名を目標
- ・居宅ケアマネジャー、病院の医療連携室等への情報提供を継続し、更なる利用者を獲得
- ・利用者のニーズが多い時間帯（デイサービスの送り出し、食事、服薬時間）への訪問強化
- ・引き続き佐用町全域（南光町・三日月町・上月町）での営業を実施

###### 【丹寿荘】

- ・契約利用者数10名を目標
- ・丹波市内の居宅介護支援事業所への事業PRや、医療機関の地域連携室等へサービス内容の広報を行い、契約者を確保
- ・訪問介護事業所との連携型をめざす。（距離が離れている場合など）

##### イ 「ラウンド・ケア・サービス」の開設準備

###### 【洲本市五色健康福祉総合センター】

- ・令和2年度内の開設に向け、洲本市等関係機関と調整する。
- ・開設後の利用者想定

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
5	5→10	10→15	15→20	20

#### (2) 高齢・重度化に対応した利用者支援の充実

##### ア ノーリフティングケア・介護技術向上の推進

###### (ア) ノーリフティングケアの推進・定着及び介護技術の向上

介護職員の腰痛予防や介護負担の軽減を図るため、ノーリフティングケア（持ち上げない介護）の定着・実践に引き続き取り組むとともに、「持ち上げない介護推進プロジェクト」（福祉のまちづくり研究所主催）の研修を受講し、モデル施設の認定をめざす。

また、各圏域の「普及推進拠点施設」を中心にノーリフティングケアの普及並びに技術の向上を図る。モデル施設については、フォローアップ研修（事

務局主催)を受講し、修得技術の振り返りを行うとともに、全職員へノーリフティングケアの意識を浸透させる。

取組内容	施設名
ノーリフティング宣言	たじま荘、丹寿荘
「持ち上げない介護推進プロジェクト」研修の受講	あわじ荘、五色・サルビアホール
フォローアップ研修の受講	万寿の家、くにうみの里



指導者配置施設
朝陽ヶ丘荘、たじま荘、丹寿荘（令和2年度）
万寿の家、くにうみの里（令和元年度配置済）

普及推進拠点施設	圏域
万寿の家	神戸
くにうみの里	淡路
たじま荘	但馬
丹寿荘	丹波

### 【万寿の家】

- ・神戸圏域の普及推進拠点施設として、ノーリフティングケアの普及を推進する。
- ・実践報告会等での取組内容の発表、職員派遣または見学や他施設からの研修受入れ等を通じて、介護技術を外部発信する。
- ・ノーリフティングケア指導者から現場職員への伝達研修を行うとともに、フォローアップ研修を通じて、ノーリフティングケアの更なる定着を図る。

### 【朝陽ヶ丘荘】

- ・令和2年度内のモデル施設認定をめざす。
- ・ノーリフティング指導者（リーダー）の配置
- ・福祉用具の計画的な導入、更新、環境整備の実施
- ・全利用者のノーリフティングケアに係るプランニングの確立
- ・ノーリフティングケア研修受講者から全職員への技術伝達
- ・施設内研修（技術勉強会等）、外部研修受講、他施設見学等
- ・定期的な腰痛チェックの実施（年2回）

### 【たじま荘】

- ・令和2年度内の「ノーリフティング宣言」をめざす。
- ・ノーリフティング現場指導者を配置し、ノーリフティングの意識定着を図るとともに、腰痛による休職、離職の防止
- ・福祉用具の計画的な導入、更新、環境整備の実施
- ・全利用者のノーリフティングケアに係るプランニングの確立
- ・定期研修の計画的な実施（1回／2週間）
- ・ケア場面等でのリスク評価（調査）を定期的に行い、支援方法の見直し及び環境面のリスク箇所を抽出し改善に取り組む。

### 【あわじ荘】

- ・「持ち上げない介護推進プロジェクト」研修を受講
- ・セラピスト等専門職の指導により技術、知識を習得し腰痛予防・介護負担軽減に努める。

- ・ノーリフティングケアプロジェクトチームの活動を強化
- ・福祉用具の計画的な導入、更新、環境整備の実施
- ・計画的な研修の受講

#### 【丹寿荘】

- ・令和2年度内の「ノーリフティング宣言」をめざす。
- ・ノーリフティング指導者（リーダー）の配置
- ・「持ち上げない介護推進プロジェクト」参加職員からの伝達研修による技術向上及び意識改革を図る。
- ・外部研修の計画的受講
- ・福祉用具の計画的な導入、更新、環境整備
- ・ノーリフティングケアをケアプランのサービス内容に位置づけることで、利用者個々の状態に応じた安全安心な介護を提供する。

#### 【くにうみの里】

- ・淡路圏域の普及推進拠点施設として、ノーリフティングケアを普及させ、技術の向上や浸透を図る取組を展開
- ・淡路圏域の事業団施設に職員を派遣し研修を実施する。
- ・福祉のまちづくり研究所と連携し、ノーリフティングケアモデル施設として、見学受け入れ及び実践紹介など普及活動を推進
- ・全利用者のノーリフティングケアに係るプランニングの確立
- ・フォローアップ研修を通じて、ノーリフティングケアの更なる定着を図る。

#### 【五色・サルビアホール】

- ・「持ち上げない介護推進プロジェクト」研修を受講
- ・持ち上げない、抱え上げない介護を実践し、介護する側、される側双方の健康と安全を守るとともに、腰痛を予防し休職、離職の防止
- ・福祉用具の計画的な導入、更新、環境整備の実施
- ・計画的な研修の受講

#### (イ)「持ち上げない介護推進プロジェクト」の実施（福祉のまちづくり研究所主催）

- 介護者の負担軽減、利用者の安全・安心につながる移乗・移動技術を有する介護職員の育成を図るための研修を引き続き実施し、県下施設へのノーリフティングケアの普及を推進する。
- 2018年度・2019年度に認定したモデル施設へのフォローアップを実施するとともに、2020年度も新たにモデル施設を認定する。

研 修 内 容	
○移乗介助用具体験講座	○利用者との介護者の体を守る介護技術研修
○腰痛予防研修	○リフトリーダー養成研修 ○ノーリフティングケアマネジメント研修

モデル施設	
既認定施設	万寿の家、くにうみの里、KOBE 須磨きらくえん
令和元年度認定施設	たじま荘、丹寿荘、第2シルバーコースト甲子園、介護老人保健施設サンライズ、特別養護老人ホームいやさか苑

- 実践定着に向けたモデル施設のフォローアップ
  - ・モデル施設意見交換会の実施
  - ・指導者養成研修の実施
  - ・モデル施設からの相談支援
- モデル施設と「持ち上げない介護」に係る取組の普及啓発
  - ・「ノーリフティングケア実践報告会」の開催
  - ・モデル施設における取り組み効果調査の実施と調査結果の広報
  - ・ホームページ、機関誌を通じたモデル施設の取り組み紹介
  - ・モデル施設見学会の実施

## イ 口腔ケアの取組

口腔ケアの取組を積極的に進め、「利用者の健康増進」「誤嚥性肺炎ゼロ」をめざす。

### (7) 障害者施設

- ・外部研修の受講及び職場内研修会の実施
  - ・歯科衛生士資格を持つ支援員による口腔ケアの技術指導
- 【現在雇用施設】（出石精和園・五色精光園・丹南精明園）

### (1) 高齢者施設

- ・K T（口から食べる）バランスチャートによる評価の実践
- ・多職種（歯科医師・歯科衛生士・栄養士・看護師・支援員等）によるチームアプローチを強化
- ・「経口維持加算」「口腔衛生管理（体制）加算」の取得をめざす。

## ウ 看取りケアの取組

高齢者や障害者が、住み慣れた施設や地域で最期までその人らしく暮らせるように、ご本人やご家族の意向を尊重しながら看取りケアに取り組む。

- 看取り指針に基づいた看取りケアの実践
- 嘱託医師や協力病院との連携
- 高齢者施設看護師連絡会と障害者等施設看護師連絡会との連携・情報交換等

## エ 認知症ケアの充実（高齢者施設共通）

- 多職種連携による統一した支援の展開
  - 認知症介護実践者研修、リーダー研修等の計画的な受講の推進
- 【令和2年度受講予定者数】

研修名	R 2	R 1（実績）
認知症介護指導者養成研修	1名	1名
認知症介護実践リーダー研修	6名	3名
認知症介護実践者研修	15名	8名

- 認知機能訓練（4 DAS）の実践
- 身体機能、認知機能、生活機能、認知症の行動・心理症状（B P S D）の4つの側面からアセスメントを行い、対象者を8つのタイプに分類してタイプに応じた認知症機能訓練を実施

**オ 高齢障害者の高齢者施設（特養）での受入（万寿の家、くにうみの里等）**

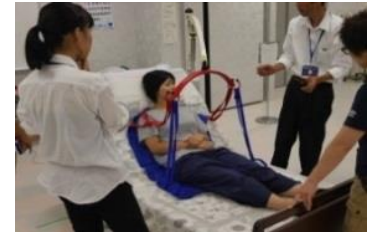
- 今後増加が見込まれる在宅高齢障害者や障害者のグループホーム、施設入所者の高齢化対策として、高齢障害者の高齢者施設での受入を推進
- 視覚・聴覚・言語機能に障害がある方や、重度の知的障害者・精神障害者を15人以上受入れるとともに、障害者生活支援員1名を配置することで、障害者支援体制加算の取得をめざす。

**カ 利用者の重度化に対応する「介護ロボット」等の導入・効果検証**

- 特別養護老人ホームで「介護リフト」等の介護ロボットや福祉機器を導入し、利用者の能力を活かした自立支援及び重度化しないケアを提供する。
- 導入機器について、業務の効率化や業務負担の軽減等が図られているか等の効果検証等を実施する。

**【介護リフト】**

施設名	所有数
万寿の家	7【43】
朝陽ヶ丘荘	1
たじま荘	8
あわじ荘	2
丹寿荘	3
くにうみの里	5
五色・サルビアホール	1



※万寿の家【 】内数字は移転後に導入する数

**【見守り支援機器（見守りセンサー等）】**

施設名	所有数
万寿の家	20 (8)【80】(3)
朝陽ヶ丘荘	20 (4)
たじま荘	(6)
あわじ荘	20 (4)
丹寿荘	(6)
くにうみの里	30
五色・サルビアホール	20 (3)



※（ ）の外書きは映像系のセンサー機器

※万寿の家【 】内数字は移転後に導入する数

**キ 障害者施設における利用者の高齢・重度化への対応**

利用者の高齢・重度化に対応した支援を行うため、職員の介護技術の向上や福祉器具の導入等を実施する。

- 加齢に伴う身体機能の低下を予防するための日中活動プログラムの提供
- 高齢者施設での実習やノーリフティングケアに関する研修の受講
- 設備改修や福祉器具の導入

## ク 強度行動障害への対応強化

行動障害を有する利用者に対して、個々の障害特性に応じた適切な支援が提供できるよう専門的な知識や技術の習得をめざす。

- 「知的障害児者へのアプローチの仕方」（事業団作成）を活用した研修会の実施
- 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）の受講
- 行動援護従業者養成研修の受講
- コンサルテーション等を活用した事例検討の実施

## ケ 事故予防の取組

### (ア) アセスメントの充実による事故リスクの減少

- ・ヒヤリハットの情報共有
- ・事故防止検討委員会の実施
- ・事故の中身について、要因や事故発生までのプロセスを分析し、本質的な問題点を把握することで、事故を未然に防止

### (イ) K Y T（危険予知トレーニング）の推進

- ・介護・支援現場には様々な危険が隠れており、その「危険」を日常から予知し、重大な事故を起こさないようにするためのトレーニングを実施

## コ 個別支援の実践及び研究等の推進

### (ア) 職員研究・実践等発表大会

日常業務の成果や、職員の利用者支援の向上に向けた取組等について発表し、発表者及び参加者相互の資質向上を図る。

### (イ) 支援の魅力、夢を叶えるプロジェクト発表大会

高齢者、障害者施設における利用者の自己実現に向けた取組等について発表し、事例を通じてより多くの職員が共有することで、日々の支援の振り返りや職員間の相互交流、モチベーションの向上等を図る。



### (ウ) 全事協職員実践報告・実務研究論文への応募

各施設において、日々取り組んでいる成果を文章化し、それらを広く発信することで、事業団内外からのフィードバック等により、職員自身の支援に対する気づきやモチベーションの向上を図るため、積極的な応募を推奨する。

### (エ) 海外派遣研修への積極的な参加

諸外国における医療福祉の事情を実地研修することにより、職員の国際的な視野を広げるとともに、職員資質やモチベーションの向上を図るため、積極的な参加を推奨する。

**(3) 「ひまわりラボ・プロジェクト」の充実（まち研・中央病院・小野福祉工場）**

ア ひまわりラボ（小野福祉工場内）における骨盤モデルや筋電義手などの事業団開発商品の製造・販売

	令和2年度制作目標
骨盤モデル	180
筋電義手	5

**【筋電義手】**

	取組内容
成人男性用	令和2年4月から販売を開始 製品名 Carpe Hand ™（Carpe：ラテン語で「握る」）
成人女性用	グローブの改良作業を継続（円滑で優雅な動作を目指す）
小児訓練用	モーター・バッテリーの小型化、小児の使用に合わせ強度を重視した骨格部の開発を継続

**イ 骨盤モデル普及推進チームによる販路の開拓**

中央病院の医師による学会での紹介活動や、骨盤モデルを使用した手術研修の開催を検討するなど、他病院への販路の開拓を推進する。

**(4) ニュークックチル方式による食事提供の実施**

**ア ニュークックチル方式による食事提供**

出石精和園第2成人寮と新万寿の家において、ニュークックチルによる新たな食事提供方式による施設給食業務を実施する。

**イ 施設給食業務の改善と拡充**

- ・出石精和園児童寮・第2成人寮の給食業務について、ニュークックチル方式による提供を実施し、その業務を RakuRaku・B型事業所で受託する。
- ・ニュークックチル方式での提供方法や、それに伴う各種課題について引き続き検討を実施する。

**【出石精和園の実施例】**

		現状	R2年度	R3年度～	R※年度以降
※児童	朝	NCC	NCC	NCC	NCC
	昼	CS（配送）	CS（配送）	CS（配送）	NCC
	夕	NCC	CS（配送）	CS（配送）	NCC
成人	朝	CS	CS（再加熱）	CS（再加熱）	CS（再加熱）
	昼	CS	CS	CS	CS
	夕	CS	CS	CS	CS
2課	朝	NCC	NCC	NCC	NCC
	昼	NCC	NCC	NCC	NCC
	夕	NCC	NCC	NCC	NCC

「NCC」はニュークックチル方式を、「CS」はクックサーブ（現地調理）方式を示す。  
「※児童」の「R3年度～」及び「R※年度以降」は第3成人寮（仮称）を示す。

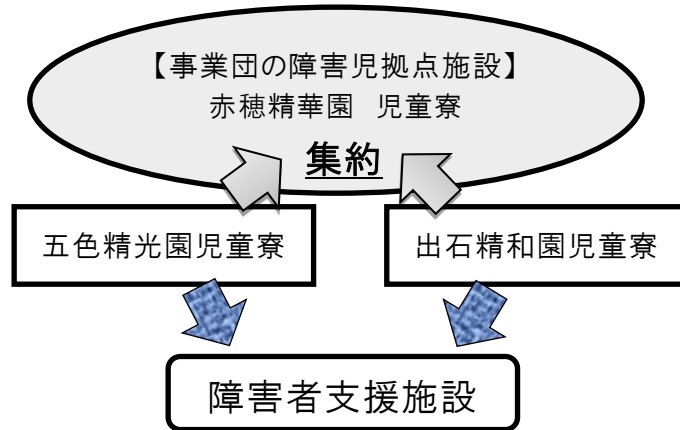
**(5) 障害児入所施設の再編・強化**

**ア 児童寮の成人施設転換にかかる取り組み**

施設名	取組内容
五色精光園	○令和2年3月末で児童入所施設を廃止し、令和2年4月1日より第2成人寮として開設 ○定員30名（男性利用者）、生活介護40名（男女利用） ○転換後の運営形態を整備し、安定した事業経営基盤を確立



出石精和園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年3月末で児童入所施設を廃止し、令和3年4月1日より第3成人寮として開設</li> <li>○定員30名（男性利用者）、生活介護30名（男性利用者）</li> <li>○施設建物や設備について必要な改修等を実施</li> <li>○現入所児童の進路付け等にかかるマネジメントの実施</li> <li>○新規入所者の確保へ向けた取り組み（関係機関との連絡調整（情報収集）、本人や家族の意向や適性等の確認他）</li> <li>○放課後等デイサービスの再整備（移転、縮小）にかかる取組</li> </ul>
-------	--



イ 障害児拠点施設としての専門性の向上（赤穂精華園）

- ・ 障害児入所施設の拠点施設としての役割を担い、質の高い支援を実施
- ・ 近隣大学等や清水が丘学園からの心理療法士の派遣を受け、専門的な知識や技術の向上に努め、職員体制の強化を図る。

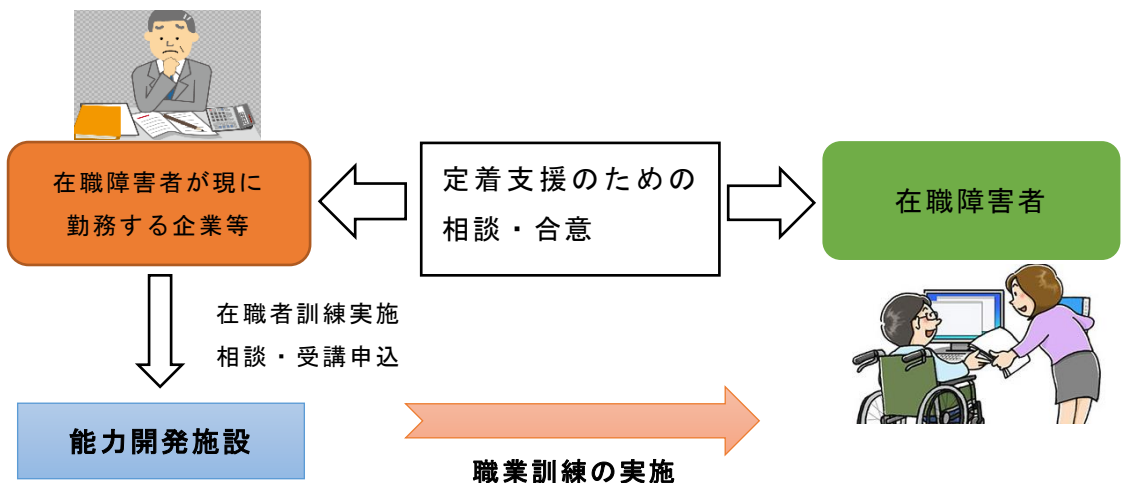
ウ 小規模グループケアの実施（赤穂精華園）

被虐待児童の増加に伴い、出来るだけ家庭的な環境の下、きめ細やかで質の高い支援の提供が必要になってきていることから、定員を40名→36名に見直し、新たに小規模グループケアを実施し、適切かつ効果的な支援を実施する。

**(6) 障害者の就労支援の促進**

ア オーダー型在職障害者職業訓練の実施（能力開発施設）

企業等で就労している障害者のスキルアップに向けて、事業主のオーダーや利用希望者のスキルを踏まえ、企業の求める職場の即戦力となる人材の育成を行うことにより、雇用の定着を図る。

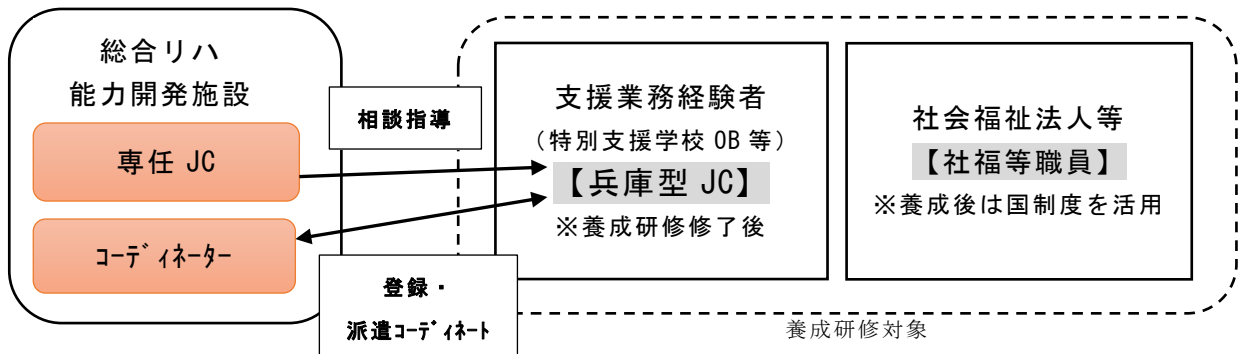




## イ ひょうごジョブコーチ推進事業の受託（能力開発施設）

障害者の職場定着支援の充実を図るため、兵庫県が独自に創設した「ひょうごジョブコーチ推進事業」を受託し、ジョブコーチが障害者の職場を訪問し、職場適応・定着について、個々の特性を踏まえた専門的な伴走型支援を実施する。

- ・養成（再委託）
- ・養成研修修了者の登録管理
- ・相談指導
- ・ジョブコーチの派遣、コーディネート



ウ 障害者就業・生活支援センター事業の実施（五色精光園、赤穂精華園、三木精愛園）  
地域の障害者雇用・就業支援ネットワーク等を活用し、障害者の就業及び付随する生活面の支援を行うことで障害者の雇用・就業及び職業的自立を促進する。

各センターの事業内容	
○雇用安定等事業	○生活支援等事業
○障害者雇用就業・定着拡大推進事業	○職業紹介事業
○ジョブコーチ、主任職場定着支援担当配置（三木精愛園のみ）	

## (7) 就労継続 B 型事業の利用者工賃の向上

工賃向上によって、利用者が就労に対するモチベーションを維持・向上できるよう、生産活動収入の増額を目指して事業を展開する。

- ・上位の報酬単価を得るため、生産活動収入の増額をとおして工賃を向上

【就労継続支援 B 型事業所における平均工賃】（単位：円）

施設名	H30（実績）	R1（見込）	R2（目標）
あけぼのの家	32,419	26,000	27,000
小野福祉工場	32,792	34,400	35,000
出石精和園	RakuRaku	22,372	25,200
	ひまわりの森	9,978	8,040
	笑顔の森むらおか	7,386	5,530
五色精光園	あゆみの部屋	25,577	25,620
	コスモス	23,876	23,900
赤穂精華園	やまびこ寮	11,136	10,600
丹南精明園	14,932	11,440	12,000

## (8) 介助犬及び聴導犬認定事業の実施（自立生活訓練センター）

介助犬等の認定指定法人、訓練事業者として適正に認定事業を実施し、介助犬等の普及促進を図る。

- ・福祉・医療関係者を対象とした施設見学会において、制度や施設機能についての情報提供
- ・日本介助犬協会主催や、国立障害者リハビリテーションセンター学院主催の研修会等に参加することで、身体障害者補助犬を取り巻く環境等に関する最新情報を習得

【認定件数等】

（単位：件）

		H15～ 19年度	H20～ 24年度	H25～ 30年度	R1年度	合計
介助犬	認定	10	7	8	1	26
	取消	1	6	7	3	17
聴導犬	認定	2	1	0	0	3
	取消	0	1	1	0	2
合計	認定	12	8	8	1	29
	取消	1	7	8	3	19

※令和2年3月時点の登録頭数10頭（介助犬：9頭、聴導犬：1頭）

## (9) 地域で自立した生活の充実（のぞみの家）

地域移行に向けた、社会生活力プログラムを実施し、日中活動の充実を図るとともに個別ニーズに応じた活動を提供する。また、地域生活へ移行するために必要なスキルを段階別に可視化し、支援者と利用者双方で共有することで、利用者がより具体的な生活をイメージし、円滑に地域移行ができるよう支援する。

## (10) 高次脳機能障害者への支援体制強化（自立生活訓練センター、能力開発施設、中央病院）

高次脳機能障害者の社会復帰に向けた自立訓練サービスの支援内容や訓練内容（評価等含む）を再構築しサービスのさらなる充実を図る。また、総合リハ内において高次脳機能障害者の支援の流れを再構築することで、兵庫県における高次脳機能障害支援拠点としての役割を強化する。

- ・施設内プログラム検討委員会での検討
- ・高次脳機能障害者情報・評価ツール検討委員会（仮称）の設置
- ・高次脳機能障害者情報提供シートの総合リハ内における共有化

## (11) 地域リハビリテーション体制の推進（地域ケア・リハビリテーション支援センター）

### ア 兵庫県地域リハビリテーション支援センターの運営

全県リハビリテーション支援センターとして、各圏域において地域包括ケアシステムの構築を図り、住み慣れた地域で、適時適切なリハビリを継続的に受けることができるよう、圏域内で完結するリハビリテーション体制の構築をめざす。

#### 【地域リハビリテーション支援体制推進事業】

- ・ 圏域リハ支援センターの支援
- ・ 関係団体との連絡調整
- ・ リハ資源の調査研究、情報提供
- ・ 最新情報の収集、分析、提供

イ 「全国リハビリテーション・ケア研究大会 兵庫 2021」開催に向けた準備委員会及び大会事務局の設置  
地域包括ケアシステムの推進に向けた地域リハビリテーション等関連団体の合同学会を兵庫県で開催するため、準備委員会および大会事務局を自立生活訓練部に設置する。

#### 【大会日程等】

大会名：全国リハビリテーション・ケア研究大会 兵庫 2021

開催日：令和3年11月18日（木）～19日（金）

場 所：ANAクラウンプラザ KOBE、神戸芸術文化センター

※県内の有識者等で大会プログラム検討委員会を設置